

プレゼンテーションの仕方

- まず論文題目を示す
- 学生番号と名前
- 就職先も聞かれる
- 研究室を書く人がいるけどなくても良い

戦略的に項目を配置する

- スライド1枚に一項目をまとめる
- 基本的には順に発表していく
 - 同じものが複数枚あっても良い
- 起承転結で纏める
 - ポイント押さえた発表
 - やったことを全部だそうと思わない
- 何が自分のセールスポイントで、何を訴えるかメリハリをつける

スライド上の項目配置

- 一枚一点に絞る方がわかりやすい
- スライドは発表を助ける手段であることは忘れない
- 自分のみなくともわかっている。聴衆は読まなければ理解できない
- 箇条書きにしてわかりやすく

必要なら目次を作っても良い

- 発表の概略
- 目的と問題提起の扱い
- 図、表の扱い
- 式の扱い
- カラー化のメリット、デメリット
- 結論は簡潔に短く一枚に纏める

目的と問題提起の扱い

- 基本はこれ
- 何がわかっている、なにをしようとしているか
 - 既往の成果との位置づけでの説明も効果的
- どんな方法で分析したか

- 少し時間をかける
 - ただし冗長はダメ、内容がない様に見える

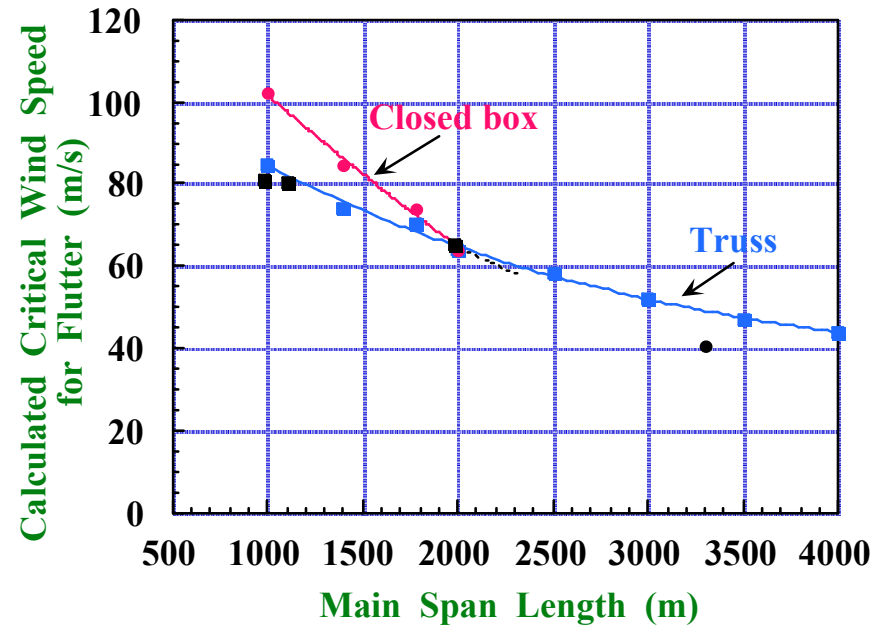
表の扱い

- 表は見えない。説明できないと考える
- 実験ケース、解析ケースは、研究内容にもよるが、選択趣旨と主要パラメータのみで良いかもしれない

部門	専攻	コース	区分	役職	氏名	ふりがな	E-mailアドレス
人工環境と情報	環境システム学	システムデザイン	基幹	教授	井上 義行	いのうえよしゆき	y-inoue@ynu.ac.jp
人工環境と情報	環境システム学	システムデザイン	基幹	教授	上野 誠也	うえのせいや	s-ueno@ynu.ac.jp
人工環境と情報	環境システム学	システムデザイン	基幹	教授	佐土原 聡	さどはらさとる	sato610@arc.ynu.ac.jp
人工環境と情報	環境システム学	システムデザイン	基幹	教授	森下 信	もりしたしん	mshin@ynu.ac.jp
人工環境と情報	環境システム学	システムデザイン	基幹	教授	山田 均	やまだひとし	y-yamada@ynu.ac.jp
人工環境と情報	環境システム学	マテリアルシステム	基幹	教授	國枝 博信	くにえだひろのぶ	kunieda@ynu.ac.jp
人工環境と情報	環境システム学	マテリアルシステム	基幹	教授	米屋 勝利	こめやかつとし	komeya@ynu.ac.jp
人工環境と情報	環境システム学	マテリアルシステム	基幹	教授	鈴木 淳史	すずきあつし	suzuki@post.me.ynu.ac.jp
人工環境と情報	環境システム学	マテリアルシステム	基幹	教授	原 孝夫	はらたかお	t-hara@ynu.ac.jp
人工環境と情報	環境システム学	システムデザイン	基幹	講師	吉田 聡	よしださとし	s_yoshi@arc.ynu.ac.jp

図の扱い

- 何の図なのか、一目瞭然にわかる配慮は必要
- 何のためだしているのか、説明を助けるためであることを思い出す
- ただ単に時間稼ぎ、成果の羅列は最悪



- スパンとともに漸減するか
- 箱とトラスはクロスするか

式の扱い

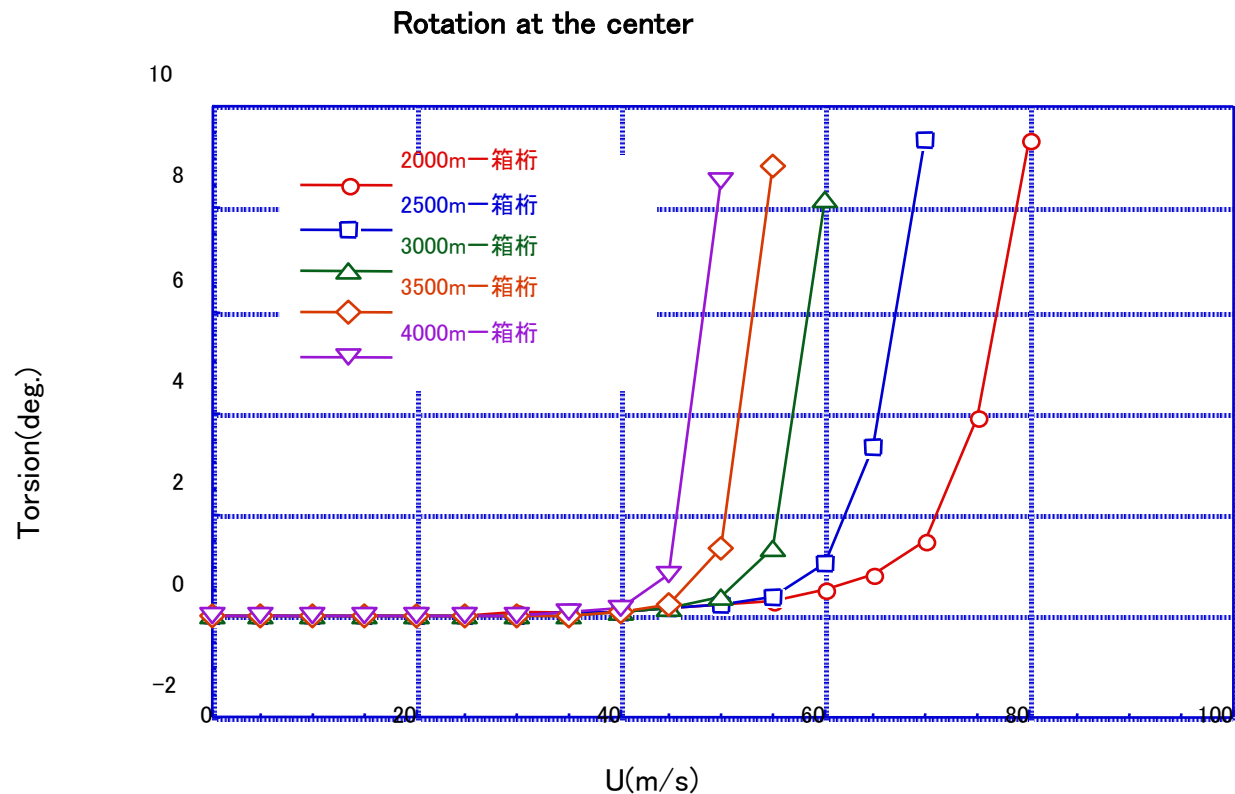
- 式は最小限にとどめる
 - 短い時間で理解してもらうのは不可能
- それでも出すなら
 - 趣旨を明確に
 - 大きく

$$\begin{Bmatrix} L \\ M \\ D \end{Bmatrix} = \frac{1}{2} \rho U^2 \begin{bmatrix} B & 0 & 0 \\ 0 & B^2 & 0 \\ 0 & 0 & B \end{bmatrix} \left\{ \begin{bmatrix} kP_1^* & kP_2^* & kP_5^* \\ kH_1^* & kH_2^* & kH_5^* \\ kA_1^* & kA_2^* & kA_5^* \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} \dot{y}/U \\ B\dot{\theta}/U \\ \dot{z}/U \end{Bmatrix} + \begin{bmatrix} k^2 P_4^* & k^2 P_3^* & k^2 P_6^* \\ k^2 H_4^* & k^2 H_3^* & k^2 H_6^* \\ k^2 A_4^* & k^2 A_3^* & k^2 A_6^* \end{bmatrix} \begin{Bmatrix} y/B \\ \theta \\ z/B \end{Bmatrix} \right\}$$

この場合の目的は式の存在に意義がある

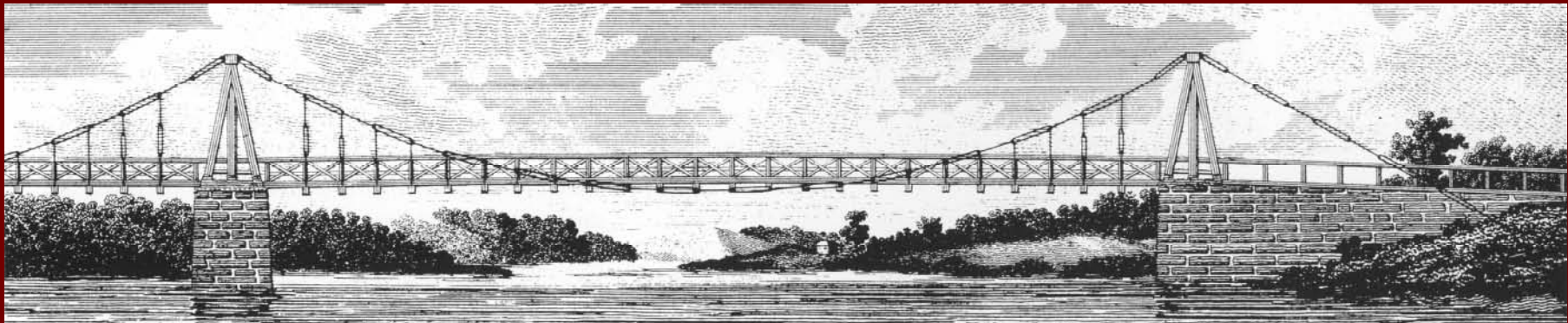
カラー化のメリット、デメリット

- 視認性はよくなる、訴える力は強くなる
 - 白黒でも効果的なプレゼンテーションはできる
- 戦略に基づく効果的な色の配置は最高の効果を生む



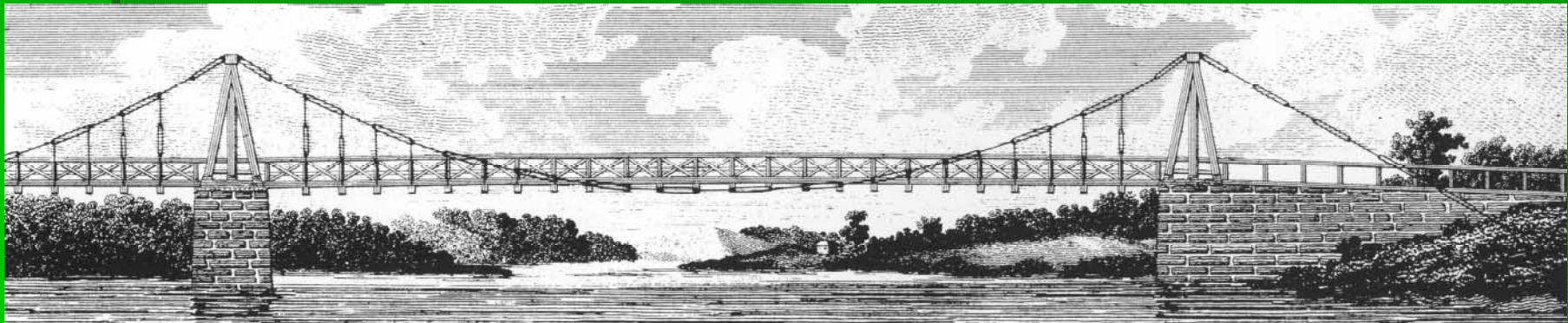
カラー化のメリット、デメリット

- 視認性はよくなる、訴える力は強くなる
 - 白黒でも効果的なプレゼンテーションはできる
- 戦略に基づく効果的な色の配置は最高の効果を生む



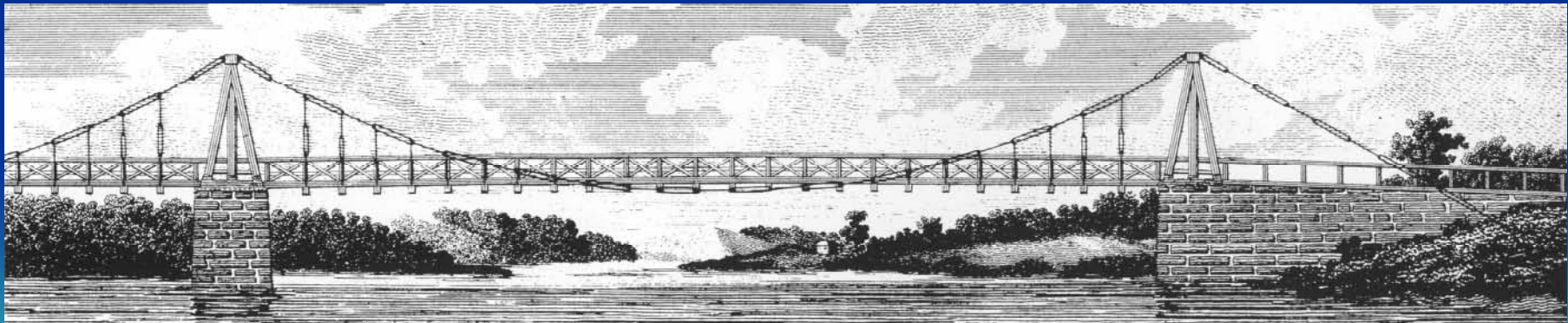
カラー化のメリット、デメリット

- 視認性はよくなる、訴える力は強くなる
 - 白黒でも効果的なプレゼンテーションはできる
- 戦略に基づく効果的な色の配置は最高の効果を生む



カラー化のメリット、デメリット

- 視認性はよくなる、訴える力は強くなる
 - 白黒でも効果的なプレゼンテーションはできる
- 戦略に基づく効果的な色の配置は最高の効果を生む



結論は、簡潔に

- 問題的に対応する様に纏める
- 箇条書きが原則
- 簡潔に短く、できれば一枚に纏める

